

前 金	部 分 払
有	0 回

平 成 3 0 年 度

下建公補 第 14 号

橋内第一排水区マンホール浮上防止工事設計書

工 事 仕 様 は 特 記 以 外 は 三 重 県 公 共 工 事 共 通 仕 様 書 及 び 工 事 監 督 員 の 指 示 に よ る 。

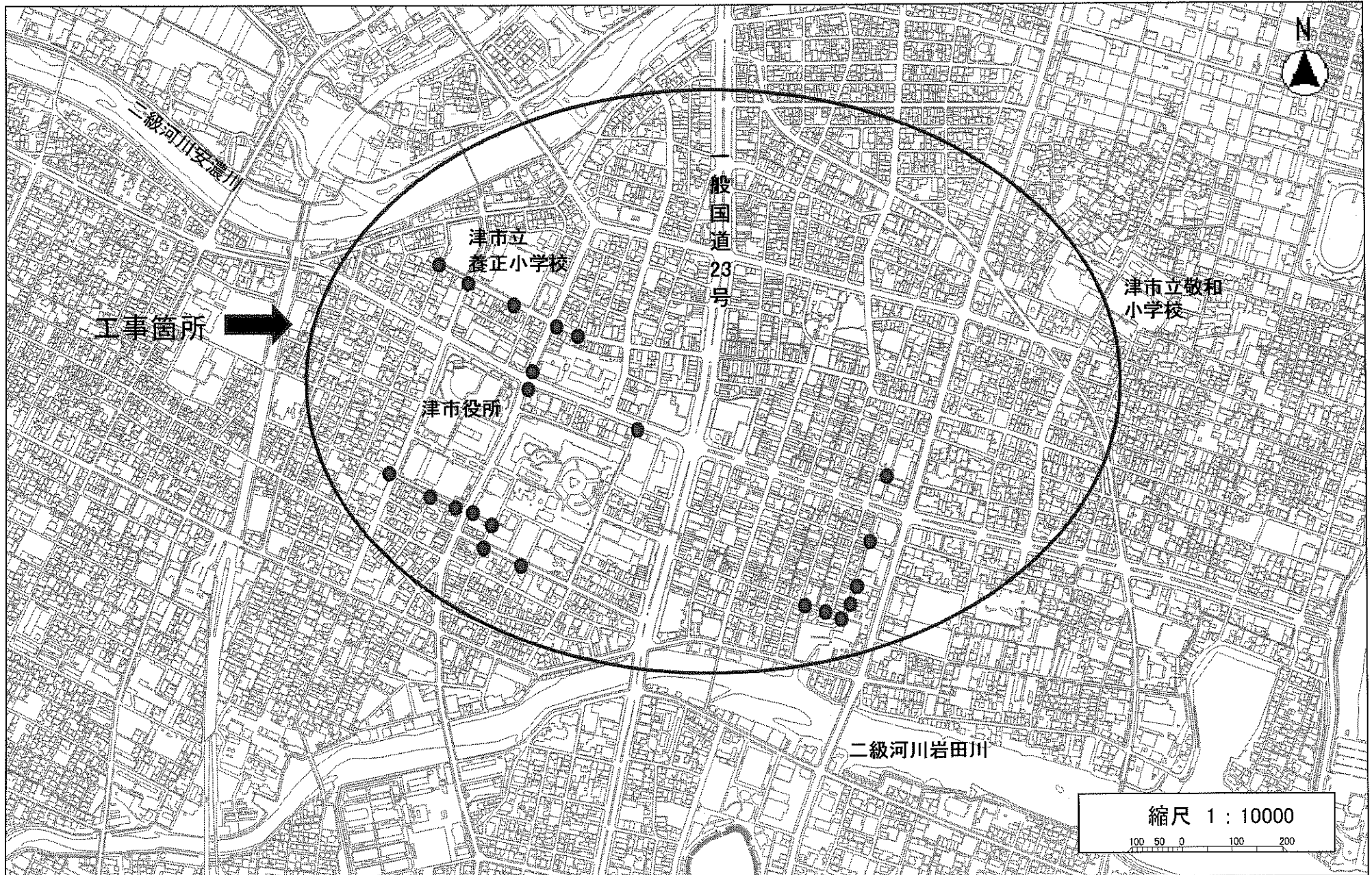
津 市 下 水 道 局

下 水 道 建 設 課

平成 30 年度		下建公補 第 14 号		工 事 設 計 書	
施工場所		津市 東丸之内ほか5町 地内		次長	
				課長	
工事名		橋内第一排水区マンホール浮上防止工事		検算者	
				参与	
設計額		(うち消費税等相当額)		調整主幹	
				副主幹	
工 期		平成 3 1 年 1 月 2 5 日限り		設計者	
長	—		巾	—	
工 事 の 大 要					
非開削工法 1 8 箇所 開削工法 4 箇所					

位置図

平成30年度 下建公補 第14号
橋内第一排水区マンホール浮上防止工事



設 計 内 訳 表

費目	工種	種別	細別	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
本工事費								
管路				式				
					1.000			
マンホール工				式				
					1.000			
		マンホール浮上防止工（１）		式				第 0001 号 明細表 非開削工法
					1.000			
		マンホール浮上防止工（２）		式				第 0002 号 明細表 開削工法（M26）
					1.000			
		マンホール浮上防止工（３）		式				第 0003 号 明細表 開削工法（M30）
					1.000			
		マンホール浮上防止工（４）		式				第 0004 号 明細表 開削工法（M31）
					1.000			
		マンホール浮上防止工（５）		式				第 0005 号 明細表 開削工法（M33）
					1.000			
付帯工				式				
					1.000			

設 計 内 訳 表

費目	工種	種別	細別	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
			舗装撤去工（本復旧）	式				第 0006 号 明細表
					1.000			
			舗装復旧工（本復旧）	式				第 0007 号 明細表
					1.000			
			区画線工（本復旧）	式				第 0008 号 明細表
					1.000			
	仮設工			式				
					1.000			
			交通管理工	式				第 0009 号 明細表
					1.000			
直接工事費計				式				
					1.000			
間接工事費								
共通仮設費								
			事業損失防止施設費	式				第 9001 号 明細表
					1.000			

設 計 内 訳 表

費目	工種	種別	細別	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
共通仮設費 (率計上額)				式				
					1.000			
共通仮設費計				式				
					1.000			
純工事費				式				
					1.000			
現場管理費				式				
					1.000			
工事原価				式				
					1.000			
一般管理費等				式				
					1.000			
工事価格				式				
					1.000			
消費税及び地方消費税相当額				式				
					1.000			
本工事費計				式				
					1.000			

第 0001 号 明細表 マンホール浮上防止工 (1)						1 式 (上段 : 前 回 下段 : 今 回)
名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
消散弁材料費 (1)		個				
			70.000			
消散弁材料費 (2)		個				
			2.000			
消散弁取付工 (1) 壁厚>150mm		箇所				第0001号単価表
			70.000			
消散弁取付工 (2) 60mm≤壁厚≤150mm		箇所				第0002号単価表
			2.000			
消散弁取付装置設置・撤去工		箇所				第0003号単価表
			23.000			
合 計						

第 0002 号 明細表 マンホール浮上防止工（2）					1 式 (上段 : 前 回 下段 : 今 回)
名 称 規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
消散帯布設工（1） M 2 6	式				第0004号単価表
		1.000			
ドレーン設置工（1） M 2 6	式				第0006号単価表
		1.000			
合 計					

第 0003 号 明細表 マンホール浮上防止工（3）					1 式 (上段 : 前 回 下段 : 今 回)
名 称 規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
消散帯布設工（2） M 3 0	式				第0015号単価表
		1.000			
ドレーン設置工（2） M 3 0	式				第0016号単価表
		1.000			
合 計					

第 0004 号 明細表 マンホール浮上防止工（４）					1 式 (上段 : 前 回 下段 : 今 回)
名 称 規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
消散帯布設工（３） M 3 1	式				第0023号単価表
		1.000			
ドレーン設置工（３） M 3 1	式				第0024号単価表
		1.000			
合 計					

第 0005 号 明細表 マンホール浮上防止工（５）					1 式 (上段 : 前 回 下段 : 今 回)
名 称 規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
消散帯布設工（４） M 3 3	式				第0031号単価表
		1.000			
ドレーン設置工（４） M 3 3	式				第0032号単価表
		1.000			
合 計					

第 0006 号 明細表 舗装撤去工（本復旧）					1 式 (上段 : 前 回 下段 : 今 回)
名 称 規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
舗装版切断(施工パッケージ)	m				CB430510(0004)
アスファルト舗装版 15cm以下		56.000			
舗装版破碎(施工パッケージ)	m2				CB430310(0005)
アスファルト舗装版 騒音振動対策不要 積込有り		209.000			
殻運搬(施工パッケージ)	m3				第0005号施工単価表
舗装版破碎		9.000			
建設廃棄物受入れ料金	m3				第0003号施工単価表
A s 塊		9.000			
合 計					

第 0007 号 明細表 舗装復旧工（本復旧）					1 式 (上段 : 前 回 下段 : 今 回)
名 称 規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
不陸整正(施工パッケージ)	m2				CB410010(0010)
有り 9mm以上13mm未満 再生クラッシュラン RC-40		209.000			
表層（車道・路肩部）(施工パッケージ)	m2				第0006号施工単価表
1層当り平均仕上り厚 50 mm 再生密粒度アスファルト混合物 (13)		209.000			

第 0007 号 明細表 舗装復旧工（本復旧）						1 式
						（上段：前回 下段：今回）
名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
合 計						

第 0008 号 明細表 区画線工（本復旧）						1 式
						（上段：前回 下段：今回）
名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
区画線工〔溶融式・手動〕（標準単価） 矢印・記号・文字 幅 15cm（換算） 1.5mm（標準） 白		m				第0007号施工単価表
			16.000			
区画線工〔溶融式・手動〕（標準単価） 実線 幅 30cm 1.5mm（標準） 白		m				第0008号施工単価表
			2.000			
合 計						

第 0009 号 明細表 交通管理工						1 式
						(上段 : 前 回 下段 : 今 回)
名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
交通誘導警備員費		式				第0009号施工単価表
			1.000			
合 計						

第 9001 号 明細表 事業損失防止施設費						1 式
						(上段 : 前 回 下段 : 今 回)
名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
試掘調査工		箇所				第0039号単価表
			5.000			
合 計						

土砂等運搬(施工パッケージ) 土砂(岩塊・玉石混り土含む)					第 0001 号 施工単価表 1.000 m3 当り
名 称	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
土砂等運搬(施工パッケージ) 土砂(岩塊・玉石混り土含む)	m3	1.000			CB210110(0003)
合計	m3	1.000			
単位当り	m3	1.000	当り		

殻運搬(施工パッケージ) 舗装版破碎					第 0002 号 施工単価表 1.000 m3 当り
名 称	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
殻運搬(施工パッケージ) 舗装版破碎	m3	1.000			CB227010(0006)
合計	m3	1.000			
単位当り	m3	1.000	当り		

建設廃棄物受入れ料金 A s 塊					第 0003 号 施工単価表 1.000 m3 当り
名 称	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
建設廃棄物受入れ料金 (A s 塊)	m3	1.000			
合計	m3	1.000			
単位当り	m3	1.000	当り		

表層（車道・路肩部）（施工パッケージ） 1層当り平均仕上り厚 30 mm 再生密粒度アスファルト混合物（13）					第 0004 号 施工単価表 1.000 m2 当り
名 称	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
表層（車道・路肩部）（施工パッケージ） 1層当り平均仕上り厚 30 mm 再生密粒度アス ン(13) プライムコート PK-3	m2	1.000			CB410260(0008)
合計	m2	1.000			
単位当り	m2	1.000	当り		

殻運搬(施工パッケージ) 舗装版破碎					第 0005 号 施工単価表 1.000 m3 当り
名 称	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
殻運搬(施工パッケージ) 舗装版破碎	m3	1.000			CB227010(0009)
合計	m3	1.000			
単位当り	m3	1.000	当り		

表層（車道・路肩部）（施工パッケージ） 1層当り平均仕上り厚 50 mm 再生密粒度アスファルト混合物（13）					第 0006 号 施工単価表 1.000 m2 当り
名 称	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
表層（車道・路肩部）（施工パッケージ） 1層当り平均仕上り厚 50 mm 再生密粒度アス ン(13) プライムコート PK-3	m2	1.000			CB410260(0011)
合計	m2	1.000			
単位当り	m2	1.000	当り		

区画線工〔溶融式・手動〕（標準単価） 矢印・記号・文字 幅 15cm（換算） 1.5mm（標準） 白					第 0007 号 施工単価表 1,000.000 m 当り
名 称	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
区画線設置工〔溶融式（手動）〕〔供用区間〕					
矢印・記号・文字 15cm、時間的制約 無、機・労 昼間	m	1,000.000			
路面標示用塗料 3種1号					
JIS K 5665 溶融 ガラスビーズ 含有量15～18% 白 比重2.0	k g	570.000			
接着用プライマー					
区画線用 色- 比重0.9	k g	25.000			
ガラスビーズ					
ガラスビーズ JIS R 3301 1号(0.106～0.850mm)色- 比重-	k g	25.000			
軽油					
一般用	L	110.000			
諸雑費					
	式	1.000			
合計	m	1,000.000			

区画線工〔溶融式・手動〕（標準単価） 矢印・記号・文字 幅 15cm（換算） 1.5mm（標準） 白					第 0007 号 施工単価表 1,000.000 m 当り
名 称	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
単位当り	m	1.000	当り		

区画線工〔溶融式・手動〕（標準単価） 実線 幅 30cm 1.5mm（標準） 白					第 0008 号 施工単価表 1,000.000 m 当り
名 称	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
区画線設置工〔溶融式（手動）〕〔供用区間〕 実線 30cm、時間的制約 無、機・労 昼間	m	1,000.000			
路面標示用塗料 3種1号 JIS K 5665 溶融 ガラスビーズ 含有量15～18% 白 比重2.0	k g	1,130.000			
接着用プライマー 区画線用 色- 比重0.9	k g	50.000			
ガラスビーズ ガラスビーズ JIS R 3301 1号(0.106～0.850mm) 色- 比重-	k g	50.000			
軽油 一般用	L	71.000			

区画線工〔溶融式・手動〕（標準単価） 実線 幅 30cm 1.5mm（標準） 白					第 0008 号 施工単価表 1,000.000 m 当り	
名 称	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	
諸雑費	式	1.000				
合計	m	1,000.000				
単位当り	m	1.000	当り			

交通誘導警備員費					第 0009 号 施工単価表 1.000 式 当り	
名 称	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	
交通誘導警備員 A	人					
交通誘導警備員 B	人					
合計	式	1.000				

交通誘導警備員費			第 0009 号 施工単価表		
			1.000 式 当り		
名 称	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
単位当り	式	1.000	当り		

SJ0020 消散弁取付工（１） 壁厚＞150mm		第 0001 号単価表 8 箇所 当り			
名 称	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
土木一般世話役	人				
特殊作業員	人				
普通作業員	人				
消散弁取付装置損料	日				
コアビット損料 シングルビット	箇所	8.000			
面取りビット損料	箇所	8.000			
トラック機械損料	時間				
発動発電機機械損料	日				

SJ0020	消散弁取付工（１） 壁厚＞150mm	第 0001 号単価表 8 箇所 当り			
名 称	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
諸雑費	式	1.000			
合 計	箇所	8.000			
単位当り	箇所	1.000	当り		

SJ0030 消散弁取付工 (2) 60mm ≤ 壁厚 ≤ 150mm		第 0002 号単価表 8 箇所 当り			
名 称	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
土木一般世話役	人				
特殊作業員	人				
普通作業員	人				
消散弁取付装置損料	日				
コアビット損料 3 重ビット	箇所	8.000			
面取りビット損料	箇所	8.000			
トラック機械損料		5.500			
発動発電機機械損料		1.000			

SJ0030 消散弁取付工（2） 60mm≦壁厚≦150mm		第 0002 号単価表 8 箇所 当り			
名 称	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
諸雑費	式	1.000			
合 計	箇所	8.000			
単位当り	箇所	1.000	当り		

SJ0010 消散弁取付装置設置・撤去工		第 0003 号単価表 4 箇所 当り			
名 称	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
土木一般世話役	人				
特殊作業員	人				
普通作業員	人				
消散弁取付装置損料	日				
トラック機械損料	時間				
発動発電機機械損料	日				
合 計	箇所	4. 000			
単位当り	箇所	1. 000	当り		

SJ0570 消散帯布設工 (1) M 2 6		第 0004 号単価表 1 式 当り				
名 称	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	
床掘り(施工パッケージ)					CB210030(0001)	
土砂	m3	3.300				
埋戻し					第0005号単価表	
R C-40	m3	2.000				
土砂等運搬(施工パッケージ)					第0001号施工単価表	
土砂(岩塊・玉石混り土含む)	m3	3.300				
舗装版切断(施工パッケージ)					CB430510(0004)	
アスファルト舗装版 15cm以下	m	26.400				
舗装版破碎(施工パッケージ)					CB430310(0005)	
アスファルト舗装版 騒音振動対策不要 積込有り	m2	6.600				
殻運搬(施工パッケージ)					第0002号施工単価表	
舗装版破碎	m3	0.300				
建設廃棄物受入れ料金					第0003号施工単価表	
A s 塊	m3	0.300				
下層路盤 (歩道部) (施工パッケージ)					CB410031(0007)	
全仕上り厚 220 mm 再生クラッシュラン RC-40	m2	6.600				

SJ0570	消散帯布設工（１） M2 6	第 0004 号単価表 1 式				当り
名 称	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	
表層（車道・路肩部）（施工パッケージ） 1層当り平均仕上り厚 30 mm 再生密粒度アス ファルト混合物（13）	m2	6.600			第0004号施工単価表	
合 計	式	1.000				
単位当り	式	1.000	当り			

SJ0650	埋戻し R C-40	第 0005 号単価表 10 m3				当り
名 称	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	
埋戻し（施工パッケージ） 土砂	m3	10.000			CB210410(0002)	
再生クラッシャーラン R C-40	m3	12.000				
合 計	m3	10.000				
単位当り	m3	1.000	当り			

SJ0530 ドレーン設置工（１） M 2 6		第 0006 号単価表 1 式				
---------------------------------	--	--------------------	--	--	--	--

SJ0530 ドレーン設置工（１） M2 6		第 0006 号単価表 1 式 当り			
名 称	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
合 計	式	1.000			
単位当り	式	1.000	当り		

SJ0420 ドレーン材料費 M26				第 0007 号単価表	
				1 式	当り
名 称	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
ドレーン材 Φ100mm	m	40.600			
ジョイント	個	13.000			
ドレーンキャップ	個	16.000			
先端ビット 標準タイプ	個	16.000			
合 計	式	1.000			
単位当り	式	1.000	当り		

SJ0430 打設消耗費 M 2 6					第 0008 号単価表		1 式	当り
名 称		単位	数 量	単 価	金 額	摘 要		
打設消耗費		m	39.000					
合 計		式	1.000					
単位当り		式	1.000	当り				

SJ0170 労務費 機械設置・撤去工		第 0009 号単価表 1 日 当り			
名 称	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
土木一般世話役	人				
特殊作業員	人				
普通作業員	人				
合 計	日	1.000			
単位当り	日	1.000	当り		

SJ0180 労務費 ドレーン工		第 0010 号単価表 1 日 当り			
名 称	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
土木一般世話役	人				
特殊作業員	人				
普通作業員	人				
合 計	日	1.000			
単位当り	日	1.000	当り		

SJ0460 機械損料 M 2 6 ドレーン打設機					第 0011 号単価表 1 式	当り
名 称	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	
ドレーン打設機 運転日	日					
ドレーン打設機 供用日	日					
合 計	式	1. 000				
単位当り	式	1. 000	当り			

SJ0470 機械損料 M 2 6 プラント等					第 0012 号単価表 1 式	当り
名 称	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	
プラント等 供用日	日					
合 計	式	1. 000				
単位当り	式	1. 000	当り			

SJ0480 機械整備費 M26 ドレーン打設機					第 0013 号単価表 1 式	当り
名 称	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	
ドレーン打設機 M26	式	1.000				
合 計	式	1.000				
単位当り	式	1.000	当り			

SJ0490 動力用水費 M26 燃料費					第 0014 号単価表 1 式	当り
名 称	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	
発動発電機 10KVA 1台/日	台	1.800				
ガソリン レギュラー80オクタン価以上	リットル					
合 計	式	1.000				
単位当り	式	1.000	当り			

SJ0540 消散帯布設工（２） M30		第 0015 号単価表 1 式 当り				
名 称	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	
床掘り（施工パッケージ） 土砂	m3	6.400			CB210030(0001)	
埋戻し RC-40	m3	3.800			第0005号単価表	
土砂等運搬（施工パッケージ） 土砂（岩塊・玉石混り土含む）	m3	6.400			第0001号施工単価表	
舗装版切断（施工パッケージ） アスファルト舗装版 15cm以下	m	51.000			CB430510(0004)	
舗装版破碎（施工パッケージ） アスファルト舗装版 騒音振動対策不要 積込有り	m2	12.800			CB430310(0005)	
殻運搬（施工パッケージ） 舗装版破碎	m3	0.600			第0002号施工単価表	
建設廃棄物受入れ料金 As塊	m3	0.600			第0003号施工単価表	
下層路盤（歩道部）（施工パッケージ） 全仕上り厚 220 mm 再生クラッシュラン RC-40	m2	12.800			CB410031(0007)	

SJ0540 消散帯布設工（2） M30		第 0015 号単価表 1 式 当り			
名 称	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
表層（車道・路肩部）（施工パッケージ） 1層当り平均仕上り厚 30 mm 再生密粒度アス ファルト混合物（13）	m2	12.800			第0004号施工単価表
合 計	式	1.000			
単位当り	式	1.000	当り		

SJ0610 ドレーン設置工（2） M30					第 0016 号単価表 1 式 当り	
名 称		単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
ドレーン材料費 M30		式	1.000			第0017号単価表
打設消耗費 M30		式	1.000			第0018号単価表
労務費 機械設置・撤去工		日				第0009号単価表
労務費 ドレーン工		日				第0010号単価表
機械損料 M30 ドレーン打設機		式	1.000			第0019号単価表
機械損料 M30 プラント等		式	1.000			第0020号単価表
機械整備費 M30 ドレーン打設機		式	1.000			第0021号単価表
動力用水費 M30 燃料費		式	1.000			第0022号単価表

SJ0610 ドレーン設置工（2） M30		第 0016 号単価表 1 式 当り			
名 称	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
合 計	式	1.000			
単位当り	式	1.000	当り		

SJ0150 ドレーン材料費 M30				第 0017 号単価表		1 式 当り
名 称	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	
ドレーン材 Φ100mm	m	94.700				
ジョイント	個	28.000				
ドレーンキャップ	個	25.000				
先端ビット 標準タイプ	個	25.000				
合 計	式	1.000				
単位当り	式	1.000	当り			

SJ0160 打設消耗費 M30					第 0018 号単価表 1 式	当り
名 称	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	
打設消耗費	m	92.200				
合 計	式	1.000				
単位当り	式	1.000	当り			

SJ0190 機械損料 M30 ドレーン打設機					第 0019 号単価表 1 式	当り
名 称	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	
ドレーン打設機 運転日	日					
ドレーン打設機 供用日	日					
合 計	式	1.000				
単位当り	式	1.000	当り			

SJ0200 機械損料 M30 プラント等		第 0020 号単価表 1 式 当り			
名 称	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
プラント等 供用日	日				
合 計	式	1.000			
単位当り	式	1.000	当り		

SJ0210 機械整備費 M30 ドレーン打設機		第 0021 号単価表 1 式 当り			
名 称	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
ドレーン打設機 M30	式	1.000			
合 計	式	1.000			
単位当り	式	1.000	当り		

SJ0220 動力用水費 M3 0 燃料費		第 0022 号単価表 1 式 当り			
名 称	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
発動発電機 10KVA 1台／日	台	4.300			
ガソリン レギュラー80オクタン価以上	リットル				
合 計	式	1.000			
単位当り	式	1.000	当り		

SJ0550 消散帯布設工（3） M31		第 0023 号単価表 1 式 当り				
名 称	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	
床掘り（施工パッケージ） 土砂	m3	4.800			CB210030(0001)	
埋戻し R C-40	m3	2.900			第0005号単価表	
土砂等運搬（施工パッケージ） 土砂（岩塊・玉石混り土含む）	m3	4.800			第0001号施工単価表	
舗装版切断（施工パッケージ） アスファルト舗装版 15cm以下	m	38.000			CB430510(0004)	
舗装版破碎（施工パッケージ） アスファルト舗装版 騒音振動対策不要 積込有り	m2	9.600			CB430310(0005)	
殻運搬（施工パッケージ） 舗装版破碎	m3	0.500			第0002号施工単価表	
建設廃棄物受入れ料金 A s 塊	m3	0.500			第0003号施工単価表	
下層路盤（歩道部）（施工パッケージ） 全仕上り厚 220 mm 再生クラッシュラン RC-40	m2	9.600			CB410031(0007)	

SJ0550 消散帯布設工（3） M31		第 0023 号単価表 1 式 当り			
名 称	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
表層（車道・路肩部）（施工パッケージ） 1層当り平均仕上り厚 30 mm 再生密粒度アス ファルト混合物（13）	m2	9.600			第0004号施工単価表
合 計	式	1.000			
単位当り	式	1.000	当り		

SJ0620 ドレーン設置工（3）		第 0024 号単価表					当り
M 3 1		1 式					
名 称		単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	
ドレーン材料費 M 3 1		式	1. 000			第0025号単価表	
打設消耗費 M 3 1		式	1. 000			第0026号単価表	
労務費 機械設置・撤去工		日				第0009号単価表	
労務費 ドレーン工		日				第0010号単価表	
機械損料 M 3 1 ドレーン打設機		式	1. 000			第0027号単価表	
機械損料 M 3 1 プラント等		式	1. 000			第0028号単価表	
機械整備費 M 3 1 ドレーン打設機		式	1. 000			第0029号単価表	
動力用水費 M 3 1 燃料費		式	1. 000			第0030号単価表	

SJ0620 ドレーン設置工（3） M3 1		第 0024 号単価表 1 式 当り			
名 称	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
合 計	式	1.000			
単位当り	式	1.000	当り		

SJ0240 ドレーン材料費 M31		第 0025 号単価表 1 式 当り			
名 称	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
ドレーン材 Φ100mm	m	66.800			
ジョイント	個	20.000			
ドレーンキャップ	個	19.000			
先端ビット 標準タイプ	個	19.000			
合 計	式	1.000			
単位当り	式	1.000	当り		

SJ0250 打設消耗費 M 3 1					第 0026 号単価表 1 式	当り
名 称	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	
打設消耗費	m	64.900				
合 計	式	1.000				
単位当り	式	1.000	当り			

SJ0280 機械損料 M 3 1 ドレーン打設機					第 0027 号単価表 1 式	当り
名 称	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	
ドレーン打設機 運転日	日					
ドレーン打設機 供用日	日					
合 計	式	1.000				
単位当り	式	1.000	当り			

SJ0290 機械損料 M 3 1 プラント等		第 0028 号単価表 1 式 当り			
名 称	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
プラント等 供用日	日				
合 計	式	1. 000			
単位当り	式	1. 000	当り		

SJ0300 機械整備費 M 3 1 ドレーン打設機		第 0029 号単価表 1 式 当り			
名 称	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
ドレーン打設機 M 3 1	式	1. 000			
合 計	式	1. 000			
単位当り	式	1. 000	当り		

SJ0310 動力用水費 M3 1 燃料費		第 0030 号単価表 1 式 当り			
名 称	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
発動発電機 10KVA 1台/日	台	2.700			
ガソリン レギュラー80オクタン価以上	リットル				
合 計	式	1.000			
単位当り	式	1.000	当り		

SJ0560 消散帯布設工（４） M 3 3		第 0031 号単価表 1 式 当り				
名 称	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	
床掘り（施工パッケージ） 土砂	m3	5.400			CB210030(0001)	
埋戻し R C-40	m3	3.200			第0005号単価表	
土砂等運搬（施工パッケージ） 土砂（岩塊・玉石混り土含む）	m3	5.400			第0001号施工単価表	
舗装版切断（施工パッケージ） アスファルト舗装版 15cm以下	m	42.800			CB430510(0004)	
舗装版破碎（施工パッケージ） アスファルト舗装版 騒音振動対策不要 積込有り	m2	10.700			CB430310(0005)	
殻運搬（施工パッケージ） 舗装版破碎	m3	0.500			第0002号施工単価表	
建設廃棄物受入れ料金 A s 塊	m3	0.500			第0003号施工単価表	
下層路盤（歩道部）（施工パッケージ） 全仕上り厚 220 mm 再生クラッシュラン RC-40	m2	10.700			CB410031(0007)	

SJ0560 消散帯布設工（４） M33		第 0031 号単価表 1 式 当り			
名 称	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
表層（車道・路肩部）（施工パッケージ） 1層当り平均仕上り厚 30 mm 再生密粒度アス ファルト混合物（13）	m2	10.700			第0004号施工単価表
合 計	式	1.000			
単位当り	式	1.000	当り		

SJ0630 ドレーン設置工（４） M 3 3		第 0032 号単価表 1 式				
---------------------------------	--	--------------------	--	--	--	--

SJ0630 ドレーン設置工（４） M33		第 0032 号単価表 1 式 当り			
名 称	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
合 計	式	1.000			
単位当り	式	1.000	当り		

SJ0330 ドレーン材料費 M3 3				第 0033 号単価表		1 式 当り
名 称	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	
ドレーン材 Φ100mm	m	82.300				
ジョイント	個	28.000				
ドレーンキャップ	個	23.000				
先端ビット 標準タイプ	個	23.000				
合 計	式	1.000				
単位当り	式	1.000	当り			

SJ0340 打設消費費 M 3 3					第 0034 号単価表 1 式	当り
名 称	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	
打設消費費	m	60.300				
合 計	式	1.000				
単位当り	式	1.000	当り			

SJ0370 機械損料 M 3 3 ドレーン打設機					第 0035 号単価表 1 式	当り
名 称	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	
ドレーン打設機 運転日	日					
ドレーン打設機 供用日	日					
合 計	式	1.000				
単位当り	式	1.000	当り			

SJ0380 機械損料 M 3 3 プラント等		第 0036 号単価表 1 式 当り			
名 称	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
プラント等 供用日	日				
合 計	式	1.000			
単位当り	式	1.000	当り		

SJ0390 機械整備費 M 3 3 ドレーン打設機		第 0037 号単価表 1 式 当り			
名 称	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
ドレーン打設機 M 3 3	式	1.000			
合 計	式	1.000			
単位当り	式	1.000	当り		

SJ0400 動力用水費 M3 3 燃料費		第 0038 号単価表 1 式 当り			
名 称	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
発動発電機 10KVA 1台／日	台	3.400			
ガソリン レギュラー80オクタン価以上	リットル				
合 計	式	1.000			
単位当り	式	1.000	当り		

SJ0640 試掘調査工		第 0039 号単価表 10 箇所 当り				
名 称	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	
舗装版切断(施工パッケージ) アスファルト舗装版 15cm以下	m	40.000			CB430510(0004)	
舗装版破碎(施工パッケージ) アスファルト舗装版 騒音振動対策不要 積込有り	m2	10.000			CB430310(0005)	
殻運搬(施工パッケージ) 舗装版破碎	m3	0.500			第0002号施工単価表	
建設廃棄物受入れ料金 (株) 南山建設	m3	0.500				
床掘り(施工パッケージ) 土砂	m3	6.500			CB210030(0001)	
床掘り(施工パッケージ) 土砂	m3	3.000			CB210030(0012)	
埋戻し R C-40	m3	7.500			第0005号単価表	
土砂等運搬(施工パッケージ) 土砂(岩塊・玉石混り土含む)	m3	9.500			第0001号施工単価表	

SJ0640 試掘調査工		第 0039 号単価表 10 箇所 当り			
名 称	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
下層路盤（歩道部）（施工パッケージ） 全仕上り厚 220 mm 再生クラッシュ RC-40	m2	10.000			CB410031(0007)
表層（車道・路肩部）（施工パッケージ） 1層当り平均仕上り厚 30 mm 再生密粒度アス ファルト混合物（13）	m2	10.000			第0004号施工単価表
合 計	箇所	10.000			
単位当り	箇所	1.000	当り		

施工パッケージ単価一覧表						
単価コード	施工名称	単位	標準単価	積算単価	条件名称	条件値
CB210030(0001)	床掘り(施工パッケージ)	m3			土質	土砂
CB210410(0002)	埋戻し(施工パッケージ)	m3			土質区分	土砂
CB210110(0003)	土砂等運搬(施工パッケージ)	m3			土質	土砂(岩塊・玉石混り土含む)
CB430510(0004)	舗装版切断(施工パッケージ)	m			舗装版種別	アスファルト舗装版
					アスファルト舗装版厚	15cm以下
CB430310(0005)	舗装版破砕(施工パッケージ)	m2			舗装版種別	アスファルト舗装版
					騒音振動対策	騒音振動対策不要
					積込作業の有無	積込有り
CB227010(0006)	殻運搬(施工パッケージ)	m3			殻発生作業	舗装版破砕
CB410031(0007)	下層路盤(歩道部)(施工パッケージ)	m2			全仕上り厚	全仕上り厚 220 mm
					材料	再生クラッシュラン RC-40
CB410260(0008)	表層(車道・路肩部)(施工パッケージ)	m2			1層当り平均仕上り厚(mm)	1層当り平均仕上り厚 30 mm
					材料	再生密粒度アスコン(13)
					瀝青材料種類	プライムコート PK-3

施工パッケージ単価一覧表						
単価コード	施工名称	単位	標準単価	積算単価	条件名称	条件値
CB227010(0009)	殻運搬(施工パッケージ)	m3			殻発生作業	舗装版破砕
CB410010(0010)	不陸整正(施工パッケージ)	m2			補足材料の有無	有り
					補足材料平均厚さ	9mm以上13mm未満
					補足材料	再生クワッシャー RC-40
CB410260(0011)	表層(車道・路肩部)(施工パッケージ)	m2			1層当り平均仕上り厚(mm)	1層当り平均仕上り厚 50 mm
					材料	再生密粒度アスコン(13)
					瀝青材料種類	プライムコート PK-3
CB210030(0012)	床掘り(施工パッケージ)	m3			土質	土砂

平成30年度下建公補第14号

橋内第一排水区マンホール浮上防止工事

数 量 総 括 表

レベル : 管路

工 事 数 量 総 括 表

レベル1 (工事区分)	レベル2 (工種)	レベル3 (種別)	レベル4 (細別)	レベル5 (規格)	単位	数量	摘要
管路					式	1	
	マンホール工				式	1	
		マンホール浮上防止工 (1)			式	1	
			消散弁材料費 (1)		個	70	
			消散弁材料費 (2)		個	2	
			消散弁取付工 (1)	壁厚>150mm	箇所	70	
			消散弁取付工 (2)	60≤壁厚≤150mm	箇所	2	
			消散弁取付装置設置・撤去工		箇所	23	
		マンホール浮上防止工 (2)			式	1	M26
			消散帯布設工 (1)		式	1	
			ドレーン設置工 (1)		式	1	
		マンホール浮上防止工 (3)			式	1	M30
			消散帯布設工 (2)		式	1	
			ドレーン設置工 (2)		式	1	

工 事 数 量 総 括 表

レベル1 (工事区分)	レベル2 (工種)	レベル3 (種別)	レベル4 (細別)	レベル5 (規格)	単位	数量	摘要
		マンホール浮上防止工 (4)			式	1	M31
			消散帯布設工 (3)		式	1	
			ドレーン設置工 (3)		式	1	
		マンホール浮上防止工 (5)			式	1	M33
			消散帯布設工 (4)		式	1	
			ドレーン設置工 (4)		式	1	
	付帯工				式	1	
		舗装撤去工 (本復旧)			式	1	
			舗装版切断		m	56	
			舗装版破碎		m ²	209	
			搬運搬		m ³	9	
			建設廃棄物受入れ料金		m ³	9	
		舗装復旧工 (本復旧)			式	1	
			不陸整正	t=1cm 再生クラッシャーランRC-40	m ²	209	
			表層 (車道・路肩部)	t=5cm 再生密粒度アスファルト混合物 (13)	m ²	209	

工 事 数 量 総 括 表

レベル1 (工事区分)	レベル2 (工種)	レベル3 (種別)	レベル4 (細別)	レベル5 (規格)	単位	数量	摘要
		区画線工 (本復旧)			式	1	
			区画線工【溶融式・手動】	矢印・記号・文字 幅15cm (換算) 1.5mm (標準) 白	m	16	
			区画線工【溶融式・手動】	実線 幅30cm 1.5mm (標準) 白	m	2	
	仮設工				式	1	
		交通管理工			式	1	
			交通誘導警備員		式	1	
				交通誘導警備員A	人	2	
				交通誘導警備員B	人	68	
共通仮設					式	1	
	共通仮設費				式	1	
		事業損失防止施設費			式	1	
			試掘調査工		箇所	5	

数 量 計 算 書

レベル2 (工種)	レベル3 (種別)	レベル4 (細別)	レベル5 (規格及び数量)	単位	数量
マンホール工	マンホール浮上防止工(1)	消散弁材料費(1)	・消散弁70個 消散弁12個×マンホール1箇所=12個(M29) 消散弁8個×マンホール1箇所=8個(M28) 消散弁7個×マンホール1箇所=7個(M27) 消散弁5個×マンホール1箇所=5個(M80) 消散弁4個×マンホール6箇所=24個(M71、M81、M87、M98、M99、M101) 消散弁2個×マンホール7箇所=14個(M68、M69、M70、M72、M73、M97、M100) 合計 12個+8個+7個+5個+24個+14個=70個	個	70.0
		消散弁材料費(2)	・消散弁2個 消散弁2個×マンホール1箇所=2個(M200)	個	2.0
		消散弁取付工(1)	・消散弁取付70箇所(壁厚>150mm) マンホール1箇所×消散弁12個=12箇所(M29) マンホール1箇所×消散弁8個=8箇所(M28) マンホール1箇所×消散弁7個=7箇所(M27) マンホール1箇所×消散弁5個=5箇所(M80) マンホール6箇所×消散弁4個=24箇所(M71、M81、M87、M98、M99、M101) マンホール7箇所×消散弁2個=14箇所(M68、M69、M70、M72、M73、M97、M100) 合計 12箇所+8箇所+7箇所+5箇所+24箇所+14箇所=70箇所	箇所	70.0
		消散弁取付工(2)	・消散弁取付工2箇所(60mm≤壁厚≤150mm) マンホール1箇所×消散弁2個=2箇所(M200)	箇所	2.0
		消散弁取付装置設置・撤去工	・消散弁取付装置設置・撤去工 ※消散弁取付装置設置・撤去工は消散弁数4個までが1箇所、8個までは2箇所、12個までは3箇所とする。 消散弁取付設置・撤去工1箇所×13箇所=13箇所(M68、M69、M70、M71、M72、M73、M81、M87、M97、M98、M99、M100、M101) 消散弁取付設置・撤去工2箇所×3箇所=6箇所(M27、M28、M80) 消散弁取付設置・撤去工3箇所×1箇所=3箇所(M29) 消散弁取付設置・撤去工1箇所×1箇所=1箇所(M200) 合計 13箇所+6箇所+3箇所+1箇所=23箇所	箇所	23.0

数 量 計 算 書

レベル2 (工種)	レベル3 (種別)	レベル4 (細別)	レベル5 (規格及び数量)	単位	数量
付帯工	マンホール浮上防止工(2)	消散帯布設工(1)	単位数量計算書(M26)	式	1.0
	マンホール浮上防止工(3)	ドレーン設置工(1)	単位数量計算書(M26)	式	1.0
		消散帯布設工(2)	単位数量計算書(M30)	式	1.0
	マンホール浮上防止工(4)	ドレーン設置工(2)	単位数量計算書(M30)	式	1.0
		消散帯布設工(3)	単位数量計算書(M31)	式	1.0
	マンホール浮上防止工(5)	ドレーン設置工(3)	単位数量計算書(M31)	式	1.0
		消散帯布設工(4)	単位数量計算書(M33)	式	1.0
		ドレーン設置工(4)	単位数量計算書(M33)	式	1.0
	舗装撤去工(本復旧)	舗装切断	M26 M30 M31 M33 (3.25+3.30+6.00)+(3.05+3.05+8.40)+(5.00+5.30+5.05)+(5.25+3.20+5.20)	m	56.1
	舗装復旧工(本復旧)	舗装版破碎	別紙舗装面積計算書	m ²	208.6
		舗装殻運搬	208.6×0.05-39.7×0.03	m ³	9.2
		建設廃棄物受入れ料金	208.6×0.05-39.7×0.03	m ³	9.2
		不陸整正(補足材t=1cm)	別紙舗装面積計算書	m ²	208.6
		表層(t=5cm)	別紙舗装面積計算書	m ²	208.6

数 量 計 算 書

レベル2 (工種)	レベル3 (種別)	レベル4 (細別)	レベル5 (規格及び数量)	単位	数量
仮設工 共通仮設費	区画線工(本復旧)	区画線工【溶融式・手動】	十字マーク、T字マーク 矢印・記号・文字 幅15cm(換算)1.5mm(標準)白:(7.4×1+5.7×1)×1.2	m	15.7
		区画線工【溶融式・手動】	実線30cm 1.5mm(標準)白 2.0	m	2.0
	交通管理工	交通誘導警備員		式	1.0
	事業損失防止施設費	試掘調査工	試掘調査 5箇所	式 箇所	1.0 5.0

単 位 数 量 計 算 書

細別	消散帯布設工 (1)				1 式 当り	細別	ドレーン設置工 (1)				1 式 当り
規格	(M26)					規格	(M26)				
名称	算式			単位	数量	名称	算式			単位	数量
床掘り	13.2	×	0.50 × 0.50	= m ³	3.3	(ドレーン材料費) ドレーン材 (φ100)	2.91	×	13.0 + 0.93 × 3.0	= m	40.6
埋戻し	13.2	×	0.50 × 0.30	= m ³	2.0	ジョイント	標準 2 m に 1 個			個	13.0
土砂等運搬	13.2	×	0.5 × 0.5	= m ³	3.3	ドレーンキャップ	13	+	3	個	16.0
舗装版切断	13.2	×	2.0	= m	26.4	先端ビット	13	+	3	個	16.0
舗装版破碎	13.2	×	0.5	= m ²	6.6	(打設消費費) 打設消費費	2.81	×	13.0 + 0.83 × 3.0	= m	39.0
舗装殻運搬	13.2	×	0.5 × 0.05	= m ³	0.3						
建設廃棄物受入料金	13.2	×	0.5 × 0.05	= m ³	0.3						
下層路盤 (t=220)	13.2	×	0.5	= m ²	6.6						
表層 (t=30)	13.2	×	0.5	= m ²	6.6						

単 位 数 量 計 算 書

細別	消散帯布設工 (2)			1 式
規格	(M30)			当り
名称	算式	単位	数量	
床掘り	$25.5 \times 0.50 \times 0.50$	$= m^3$	6.4	
埋戻し	$25.5 \times 0.50 \times 0.30$	$= m^3$	3.8	
土砂等運搬	$25.5 \times 0.5 \times 0.5$	$= m^3$	6.4	
舗装版切断	25.5×2.0	$= m$	51.0	
舗装版破碎	25.5×0.5	$= m^2$	12.8	
舗装殻運搬	$25.5 \times 0.5 \times 0.05$	$= m^3$	0.6	
建設廃棄物受入料金	$25.5 \times 0.5 \times 0.05$	$= m^3$	0.6	
下層路盤 (t=220)	25.5×0.5	$= m^2$	12.8	
表層 (t=30)	25.5×0.5	$= m^2$	12.8	

細別	ドレーン設置工 (2)			1 式
規格	(M30)			当り
名称	算式	単位	数量	
(ドレーン材料費) ドレーン材 (φ100)	$5.64 \times 14.0 + 1.43 \times 11.0$	$= m$	94.7	
ジョイント	標準 2 m に 1 個	個	28.0	
ドレーンキャップ	14 + 11	個	25.0	
先端ビット	14 + 11	個	25.0	
(打設消耗費) 打設消耗費	$5.54 \times 14.0 + 1.33 \times 11.0$	$= m$	92.2	

単 位 数 量 計 算 書

細別 規格	消散帯布設工 (3)		1 式 当り	細別 規格	ドレーン設置工 (3)		1 式 当り
名称	算式	単位	数量	名称	算式	単位	数量
床掘り	$19.2 \times 0.50 \times 0.50$	= m ³	4.8	(ドレーン材料費) ドレーン材 (φ100)	$5.3 \times 10.0 + 1.53 \times 9.0$	= m	66.8
埋戻し	$19.2 \times 0.50 \times 0.30$	= m ³	2.9	ジョイント	標準 2 m に 1 個	個	20.0
土砂等運搬	$19.2 \times 0.5 \times 0.5$	= m ³	4.8	ドレーンキャップ	10 + 9	個	19.0
舗装版切断	19.2×2.0	= m	38.4	先端ビット	10 + 9	個	19.0
舗装版破碎	19.2×0.5	= m ²	9.6	(打設消耗費) 打設消耗費	$5.2 \times 10.0 + 1.43 \times 9.0$	= m	64.9
舗装殻運搬	$19.2 \times 0.5 \times 0.05$	= m ³	0.5				
建設廃棄物受入料金	$19.2 \times 0.5 \times 0.05$	= m ³	0.5				
下層路盤 (t=220)	19.2×0.5	= m ²	9.6				
表層 (t=30)	19.2×0.5	= m ²	9.6				

単 位 数 量 計 算 書

細別	消散帯布設工 (4)			1 式	細別	ドレーン設置工 (4)			1 式
規格	(M33)			当り	規格	(M33)			当り
名称	算式	単位	数量		名称	算式	単位	数量	
床掘り	$21.4 \times 0.50 \times 0.50$	= m ³	5.4		(ドレーン材料費) ドレーン材 (φ100)	$5.02 \times 14.0 + 1.33 \times 9.0$	= m	82.3	
埋戻し	$21.4 \times 0.50 \times 0.30$	= m ³	3.2		ジョイント	標準 2 m に 1 個	個	28.0	
土砂等運搬	$21.4 \times 0.5 \times 0.5$	= m ³	5.4		ドレーンキャップ	14 + 9	個	23.0	
舗装版切断	21.4×2.0	= m	42.8		先端ビット	14 + 9	個	23.0	
舗装版破碎	21.4×0.5	= m ²	10.7		(打設消耗費) 打設消耗費	$4.92 \times 10.0 + 1.23 \times 9.0$	= m	60.3	
舗装殻運搬	$21.4 \times 0.5 \times 0.05$	= m ³	0.5						
建設廃棄物受入料金	$21.4 \times 0.5 \times 0.05$	= m ³	0.5						
下層路盤 (t=220)	21.4×0.5	= m ²	10.7						
表層 (t=30)	21.4×0.5	= m ²	10.7						

単 位 数 量 計 算 書

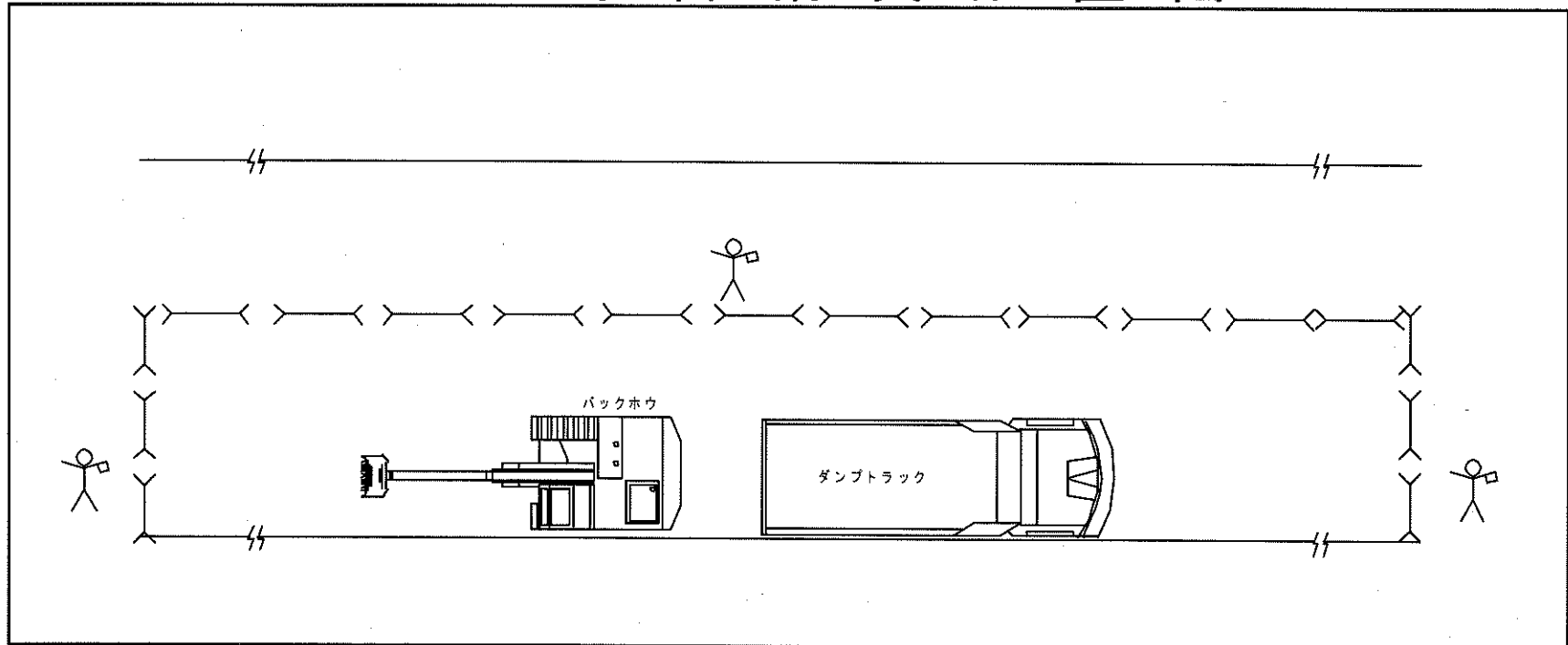
細別	試掘調査工				10箇所 当り		細別																																		
規格	平均 L=1.0 W=1.0 H=1.0						規格																																		
名称	算式				単位	数量	名称	算式				単位	数量																												
舗装版切断	1.0*4.0*10.0	=	40.00	m	40.00																																				
		=																																							
舗装版破碎	1.0*1.0*10.0	=	10.00	m2	10.00																																				
		=																																							
As殻運搬工	10*0.05	=	0.50	m3	0.50																																				
		=																																							
As殻処理	10*0.05	=	0.50	m3	0.50																																				
		=																																							
機械床堀	1.0*1.0*0.65*10.0	=	6.50	m3	6.50																																				
		=																																							
人力床堀	1.0*1.0*0.3*10.0	=	3.00	m3	3.00																																				
		=																																							
機械埋戻(RC-40)	1.0*1.0*0.75*10.0	=	7.50	m3	7.50																																				
		=																																							
発生土運搬工	6.5+3	=	9.50	m3	9.50																																				
		=																																							
路盤工(t=22cm)	1.0*1.0*10.0	=	10.00	m2	10.00																																				
		=																																							
仮復旧工 (t=3cm)	1.0*1.0*10.0	=	10.00	m2	10.00																																				
		=																																							
各試掘数量																																									
<table><tr><td>No.</td><td>W</td><td>L</td><td>H</td></tr><tr><td>M30</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>1.0</td></tr><tr><td>M30</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>1.0</td></tr><tr><td>M31</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>1.0</td></tr><tr><td>M31</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>1.0</td></tr><tr><td>M33</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>1.0</td></tr><tr><td>平均</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>1.0</td></tr></table>														No.	W	L	H	M30	1.0	1.0	1.0	M30	1.0	1.0	1.0	M31	1.0	1.0	1.0	M31	1.0	1.0	1.0	M33	1.0	1.0	1.0	平均	1.0	1.0	1.0
No.	W	L	H																																						
M30	1.0	1.0	1.0																																						
M30	1.0	1.0	1.0																																						
M31	1.0	1.0	1.0																																						
M31	1.0	1.0	1.0																																						
M33	1.0	1.0	1.0																																						
平均	1.0	1.0	1.0																																						

鋪 裝 工 面 積 計 算 書

不陸整正 補足材 RC-40 平均1cm&表層 再生密粒度As(13) t=5cm

測点	距離(m)	幅(m)	面積(m2)	測点	距離(m)	幅(m)	面積(m2)
自：				自：			
至： (M26)				至： (M31)			
自： No. 0		3.25		自： No. 0		5.00	
至： No. 0+3.4	3.40	3.25	11.1	至： No. 0+2.2	2.2	7.85	14.1
自： No. 0+3.4		3.25		自： No. 0+2.2		7.85	
至： No. 0+5.5	2.10	6.00	9.7	至： No. 0+7.5	5.3	8.95	44.5
自： No. 0+5.5		6.00		自： No. 0+7.5		7.40	
至： No. 0+8.8	3.30	6.00	19.8	至： No. 0+8.2	0.7	7.05	5.1
自：				自： No. 0+8.2		7.05	
至： 計	8.80		40.6	至： No. 0+10.1	1.9	5.05	11.5
自：				自：			
至： (M30)				至： 計	10.1		75.2
自： No. 0		3.05		自：			
至： No. 0+1.6	1.60	3.05	4.9	至： (M33)			
自： No. 0+1.6		5.05		自： No. 0		5.25	
至： No. 0+8.4	6.80	5.05	34.3	至： No. 0+2.3	2.3	7.55	14.7
自：				自： No. 0+2.3		7.55	
至： 計	8.4		39.2	至： No. 0+5.5	3.2	7.55	24.2
自：				自： No. 0+5.5		7.55	
至：				至： No. 0+7.8	2.3	5.20	14.7
自：				自：			
至：				至： 計	7.8		53.6
小計	17.2		79.8		17.9		128.8
合計					35.1		208.6

交通誘導警備員配置図



工 種	路 線 番 号								配置人員A	配置人員B
全工種	県道部全路線								1人	2人
全工種	市道部全路線								0人	3人

特記仕様書（共通編）

No.1

大区分	中区分	小区分（条件及び内容）
共通	共通	☒ 本工事の施工にあたっては、三重県発行の「三重県公共工事共通仕様書」（平成28年7月）に準じて行うものとする。 ☒ 津市工事請負契約約款、図面及び別紙特記仕様書（施工条件明示一覧表）並びに特記事項は、三重県発行の「三重県公共工事共通仕様書」（平成28年7月）に優先する。 ☒ 本工事はすべて設計図書（図面、仕様書並びに現場説明書及び現場説明に対する質問解答書を含む）によるほか、津市契約規則及び津市建設工事執行規則により執行する。 ☒ 設計図書において疑義が生じた場合は監督員の指示による。
	施工計画	☒ 品質及び出来形の基準値・規格値について、三重県公共工事共通仕様書で定めのない工種は、監督員との協議による。 ☒ 選任を必要とする作業においては、作業主任者等を配置し、必要な資格者一覧を作成するとともに免許の写しを提出するものとする。 ☒ 工事中の安全確保のため、労働安全に結びつく労働者が保有する資格者（クレーン運転士、玉掛作業員など）の一覧を作成しその資格証の写しを提出するものとする。
	施工体制台帳	☒ 受注者は工事を施工するために下請負契約を締結した場合には、下請金額にかかわらず施工体制台帳を作成し、工事現場に備えとともに、その写しを監督員に提出すること。
	工事測量	☒ 施工前に、基準点、KBM、縦横断面及び工事区間内における境界の確認測量を行い、その結果、設計図書と差異が生じている場合には監督員に報告するものとする。 ☐ 工事区間内の境界は、受注者の責任において原形復旧できる資料を作成、保存し、調査資料は監督員へ1部提出するものとする。
	施工	☒ 契約書、設計書及び仕様書に明示されていない事項であっても、機能上及び施工上当然必要と認められるもの、並びに取合いのはつり・補修・復旧は、受注者の負担で処理するものとする。 ☒ 工事中（養生中を含む）の隣接家屋の乗り入れについては、所有者と十分に協議の上、必要に応じ、鉄板等にて対応するものとする。 ☐ 排水構造物の施工については、常時通水可能な状態を確保し、異常時には臨機の措置を講じるものとする。
工程	工程	☒ 本工事の工期は、休日、雨天のほか、社会的制約条件による要因を考慮してのものである。
	関係機関協議	☒ 施工前、ゴミ置場等施工上移設が生じる場合は、所有者、関係自治会等調整し移設場所を確定し、回覧等により周知徹底を行うものとする。他の物件で移設が生じる場合も、同様の扱いとする。 ☒ 受注者は、工事着手前はもとより、工事期間中を通じて、必要の都度、工事内容を地元住民及び通行人等関係者に周知し、工事への協力を求めるための文書を配布するなど必要な措置を講ずるものとする。 ☒ 地下埋設物の対応について、各管理者と監督員の立会のもと、試掘調査を行うものとする。 ☒ 施工箇所付近に占用物件が予想される場合には、工事施工に先立って地下埋設（上空占用を含む）の詳細情報を関係機関から調査収集し、受注者より各管理者と現地立会を行うなど、施工に際し十分に協議確認を行うものとする。 ☒ 地下埋設物及び上空占用物を誤って切断した場合の緊急時の対策として、必ず監督員まで詳細を報告し、速やかに関係機関へ連絡を取るとともに周辺住民に対しても適切な処置を行うものとする。 ☒ 他の工事等と重複する場合も考えられるため、施工時期や交通規制等に綿密な調整を図り、十分な配慮をもって施工するものとする。
	官公庁への手続き等	☒ 交通障害に伴う道路使用許可の手続き、消防への工事届け等を速やかに行うものとする。なお、道路使用許可申請にかかる手数料は、受注者の負担とする。

（注）上記条件及び内容のレ印当該欄は、工事において制約を受ける事となるので明示する。
 変更が生じた場合及び明示されていない制約等が発生したときは、発注者と別途協議し適切な措置を講ずるものとする。
 別途協議とは、設計・現場説明又は作業打合せ等により協議するものとする。

津市下水道局
平成30年7月

特記仕様書（共通編）

No.2

大区分	中区分	小区分（条件及び内容）
用地・補償関係	事業損失	☐ 家屋事前調査は、調査前に対象住民への周知を行い、調査後に工事着手するものとする。 ☐ 受注者の責における金銭的補償等は、受注者の責任において適切に処理するものとする。補償対象者より領収書、承諾書等を徴収し、監督員に報告するものとする。ただし、その内容によっては、市と受注者が協議し、市が処理する場合もある。
	民地の保全	☐ 官民若しくは民民の境界を示すもの（杭、鋸、プレート等）が発見された場合は、施工前に監督員に報告するものとする。 ☒ 工事により境界杭等が破損、亡失した場合は、工事完了後復元を行うものとする。その際には、関係者と立会、承認を得るものとする。
安全対策	工事中の安全確保	☒ 施工箇所において、通学路であった場合は、対象の学校と十分協議をし、工程の調整を図るものとし、通学者の安全を確保するものとする。 ☒ 資機材の搬出入と通行時間は適切な時間帯に行い、沿線住民等への周知を図るものとする。これにより難い場合は、関係自治会等と協議を行うものとする。 ☒ 地山掘削・床掘時は、既設構造物に損傷が出ないように、適切な措置を行うものとする。また、万が一損傷を与えた場合には、受注者の責において対処するものとする。 ☒ 図示してある掘削及び床掘については、計算用に用いた線であり、施工段階では各安全法令を遵守し施工状況、地下水等を考慮し現場にあわせた勾配等、対策を講じて施工するものとする。 ☒ 工種（ 全工種 ）について、施工日の即日開放を原則とする。 ☒ 工種（ 区画線工 ）について、事前に（ 津 警察署）と立会を行い、確認後、施工を行うものとする。 ☒ 現場にて使用する各種建設機械は、持込者や点検・整備・維持管理状況が把握できるよう、受注者において書類により整理し、監督員もしくは検査員が求めた際には提示すること。 ☒ 現場において設置する仮設工は、設置完了時や使用中の点検及び管理についてチェックリスト等を活用して実施・整理し、監督員もしくは検査員が求めた際には提示すること。 ☒ 現場代理人は、豪雨、出水、その他の天災に対しては、平素から気象情報などについて十分な注意を払い、常にこれに対処できる準備をしておくものとする。 ☒ 工事中は、路面に段差や小構造物等突起物がないよう仮舗装等で十分なすり付けを行い、毎日の作業終了後工事現場内を十分に調べ、危険な箇所はその日のうちに補修を行うものとする。
	交通安全管理	☒ 工事の施工に伴って、工事車両の出入口及び交差道路に対し、一般交通の安全誘導が必要となる箇所には、交通の誘導・整理を行う者（以下「交通誘導警備員」という）を配置し、公衆の交通の安全を確保するものとする。 ☒ 交通誘導警備員のうち1人は有資格者（平成17年警備業法改正以降の交通誘導警備業務にかかる1級又は2級検定合格者）または、交通の誘導・整理の実務経験3年以上の者を配置するものとする。 ☒ 受注者は、交通誘導警備員を雇用するにあたり、その警備会社と雇用期間中等労働条件並びに傷害保険等に関する契約書を締結し、その契約書（写し）を監督員に提出すること。また、交通誘導警備員の配置者一覧表（資格・実務経験年数を明示したもの）及び配置者名の明記された伝票を監督員へ提示するものとする（但し、監督員が提出を求めた場合は提出するものとする）。 ☒ 交通誘導警備員に一日一日の工事（どこまで進入できるか等）を十分把握させ、地元車両の出入り等、交通整理に円滑な処置がとれるようにするものとする。

（注）上記条件及び内容の印当該欄は、工事において制約を受ける事となるので明示する。
 変更が生じた場合及び明示されていない制約等が発生したときは、発注者と別途協議し適切な措置を講ずるものとする。
 別途協議とは、設計・現場説明又は作業打合せ等により協議するものとする。

津市下水道局
平成30年7月

特記仕様書（共通編）

No.3

大区分	中区分	小区分（条件及び内容）
環境対策	環境対策	☒ 現場施工及び、現場外走行時の防塵対策については、周囲に粉塵等の影響が無いよう対策を講じ、通行及び人家に対し十分配慮すること。万が一被害が生じた場合は、受注者の責において解決にあたるものとする。 ☒ 土粒子を多量に含み、排水施設等に悪影響を及ぼすと考えられる放流については、沈砂または濾過施設を通して放流するものとする。 ☒ 受注者は産業廃棄物の処理を委託する際、運搬については産業廃棄物収集運搬業者等と、処分については産業廃棄物処分業者等と、それぞれ個別に直接契約し、その契約書（写し）及び収集運搬業・処分業の許可証（写し）を監督員に提示もしくは提出すること。 ☒ 廃棄物処理及び清掃に関する法律に基づき、産業廃棄物の排出事業者（受注者）は産業廃棄物の処理を委託する際、適正処理のために必要な廃棄物情報（成分性状等）を処理業者に提供し、また受注者は、処理に係る産業廃棄物管理票（マニフェスト）について、監督員が提示を求めた場合は提示するものとする。
資料作成	提出書類	☒ 工事日誌については、監督員が指示した場合、提出するものとする。 ☒ 完成写真は、着手前・施工中・完成時に、起点及び終点において必ず同一方向となるように撮影し、3枚1組として、工事写真帳の upper・中段・下段に整理し、完成写真として提出するものとする。（提出部数 2部 用紙サイズ：A4） ☒ 工事完成報告書の提出部数は2部とする。 ☒ 受注者は、工事に使用する材料の品質を証明する資料を受注者の責任と費用負担において整備し、使用前に監督員に提出し、確認を受けるものとする。 ・アスファルト混合物（事前認定審査を受けた混合物の認定書の写し）、生コンクリート（製造会社の材料試験結果、配合の決定に関する確認資料）、購入土、碎石（新材）等 ※その他材料に関する資料についても原則、全て提出するものとするが、主たる材料以外で使用量が少量の場合は資料の提出について監督員と協議できるものとする。
	部分下請負通知書	☒ 受注者は、工事の一部分において下請負させる場合は、全て部分下請負通知書を当該下請負業者の施工開始日までに監督員に提出するものとする。部分下請負通知書には下請負業者（再下請負業者を含む）との契約書等の写し、下請負業者（再下請負業者を含む）の建設業の許可の写し及び主任技術者等の資格者証の写し等を添付するものとする。なお、建設業にない下請負の場合、書面上の主任技術者を作業責任者等と読み替え、下請業者に当該業務の資格者証の写しを添付するものとする。 ☐ 特定建設業者で下請負金額の総額が、建設業法第3条第1項第2号の政令で定める金額以上の場合、受注者は、本工事をつかさどる監理技術者の資格証明書の写しを提出するものとする。
支払いに関する事項	前金支払いに関する事項	☒ 請負代金の額が130万円以上の契約において、受注者が公共工事の前払金保証事業に関する法律に規定する保証事業会社の保証を明示した場合で、市が必要と認めたときは、契約金額の10分の4以内で、かつ当該支出予算の範囲内で前払いするものとする。

（注）上記条件及び内容のレ印当該欄は、工事において制約を受ける事となるので明示する。
 変更が生じた場合及び明示されていない制約等が発生したときは、発注者と別途協議し適切な措置を講ずるものとする。
 別途協議とは、設計・現場説明又は作業打合せ等により協議するものとする。

津市下水道局
平成30年7月

(注)上記条件及び内容のレ印当該欄は、工事において制約を受ける事となるので明示する。
変更が生じた場合及び明示されていない制約等が発生したときは、発注者と別途協議し適切な措置を講ずるものとする。
別途協議とは、設計・現場説明又は作業打合せ等により協議するものとする。

特記仕様書（下水道工事共通編）

No.1

大区分	中区分	小区分（条件及び内容）
補償関係	事業損失	☐ 家屋調査については、主任技術者（監理技術者）の管理のもと、調査に従事するもの（補助者を除く）として、建築士法（昭和25年法律第202号）第2条に規定する建築士に定める資格を有するものをあてるものとする。ただし、監督員がこれと同等の知識及び能力を有するものと認めたものについては、これをもって足りる。身分証明書の交付については身分証明書交付願を契約締結後速やかに監督員に提出し、身分証明書交付後家屋調査にかかるものとする。 ☐ ウェルポイント工の施工前に現場周辺に使用中の井戸がないか調査を行い、井戸漏れ等、水位の変化に細心の注意を払うものとする。
	工事施工関係	☒ 開削埋戻しの現場の品質管理については、現場密度の測定（三重県公共工事共通仕様書品質管理基準及び規格値の道路土工）によるものとする。試験は、延長100m毎に管理することとし、試験位置については埋戻し深の1/2程度の位置とし、試験頻度は1回（3試料）以上とする。また、試料採取位置については、測定位置付近で縦断方向に3試料を測定することとする。費用は受注者の負担とする。 ☐ 立坑埋戻しの現場の品質管理については、埋戻し深が5m未満の立坑の試験位置は、埋戻し深の1/2程度の位置及び埋戻し天端の2箇所とする。試験頻度は1回（3試料）以上とする。埋戻し深が5m以上の立坑の試験位置は、概ね均等な間隔となるよう設定する。試験頻度は3mにつき1回（3試料）以上とする。費用は受注者の負担とする。 ☐ 砂基礎材の規格については、最大粒径20mm以下、且つ0.075mmふるい通過質量百分率0～20%以下とする。 ☒ 埋戻し材料については、現地発生土が埋戻し材料に適していると判断された場合は、流用土に変更するものとする。 ☐ 受注者は、公共樹を設置する工事がある場合は、申請者、又は使用者の承諾を得て工事に着手するものとし、工事による迷惑を最小限にするよう努めるものとする。 ☐ 本工事において設置する各宅地等の公共樹について、原則として公共樹設置位置申請書等に基づき設置するものとする。なお、施工前に必ず申請者に設置位置等を再度確認したのちに施工するものとする。 ☐ 設置位置等について変更希望があった場合は、監督員に報告し指示を受けるものとする。 ☐ やむを得ず管止めとなる場合は、施工前に監督員と協議し、申請者に説明したのちに施工するものとし、現地に管止めの位置がわかるようにピン等で表示をしておくとともに、別途指定の資料及び写真（管止め調書）を提出するものとする。 ☐ 公共樹設置位置申請書等については、取扱いに十分注意し、みだりに他人に知らせたり、不当な目的に使用してはならない。また、工事終了後速やかに津市に返却または引き渡すものとする。 ☐ ウェルポイントの設置期間については、本工事に伴う占用物件の移設工事を含めた期間であるため、着手前に関係機関と十分協議を行い、工事進捗の円滑化を図るものとする。
資料作成	提出書類	☐ 管渠敷設後は、テレビカメラにて管内を確認し成果品をDVD-Rにて提出すること。なお、漏水等が発生された場合は、速やかに監督員まで報告し、指示を仰ぐものとする。
その他		☒ マンホール等に入入りし、またはこれらの内部で作業を行う場合は、厚生労働省令で定める酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者の指示に従い、酸素欠乏空気、有毒ガス等の有無を作業開始前と作業中は常時調査し、換気等事故防止に必要な処置を講ずるとともに、呼吸用保護具等を準備すること。 ☒ 非開削工法にあっては、下水道既設管路耐震技術協会で講習を受講した者での施工とすることし、開削工法にあってはアースドレーン協会講習を受講した者での施工とすること。

（注）上記条件及び内容の印当該欄は、工事において制約を受ける事となるので明示する。
 変更が生じた場合及び明示されていない制約等が発生したときは、発注者と別途協議し適切な措置を講ずるものとする。
 別途協議とは、設計・現場説明又は作業打合せ等により協議するものとする。

津市下水道局
平成30年7月

特記仕様書（施工条件明示一覧表）

No.1

明 示 項 目	明 示 事 項	条 件 及 び 内 容
工 程 関 係	☐ 別途工事との工程調整が必要あり （別途工事名：下水道工事に伴う水道管移設工事） ☐ 施工時期、施工時間及び施工方法の制限あり ☐ 工期 ☐ 他機関との協議が未完了 ☐ 占用物件との工程調整の必要あり ☐ その他（ ）	☐ 調整項目（ ☐ 資材等の流用 ☐ 仮設及び工事用道路等の調整 ☐ 建設機械等の調整 ☒ 施工順序の調整 ☐ その他（ ） ☐ 別途協議（ ） ☐ 制限する工種名（ ） 施工時期及び施工時間（ ） 施工方法（ ） ☐ 工期は、繰越手続きが完了後、（ ）年（ ）日）までに変更します。 ☐ 協議が必要な機関名（ ） 協議完了見込み時期（ ） ☐ 占用物件名（ ☐ 電気 ☐ 電話 ☐ 水道 ☐ ガス ☐ その他（ ）） ☐ その他（ ）
用 地 関 係	☐ 用地補償物件の未処理箇所あり ☐ 仮設ヤードの有無 ☐ その他（ ）	☐ 未処理箇所（ ☐ 別添図 ☐ No. ～No. ☐ 別途協議（ ） ☐ 完了見込み時期（ ☐ 平成（ ）年（ ）月頃 ☐ 別途協議（ ） ☐ 仮設ヤード（ ☐ 官有地 ☐ 民有地 ☐ その他（ ）） ☐ 別途協議（ ） ☐ 仮設ヤード使用期間（ ） ☐ 仮設ヤードからの運搬距離（L＝ km） ☐ 使用条件・復旧方法（ ） ☐ その他（ ）
公害対策関係	☒ 施工方法の制限あり ☒ 事業損失防止に関する調査あり ☐ その他（ ）	☒ 制限項目（ ☐ 騒音 ☐ 振動 ☐ 水質 ☐ 粉じん ☒ 排出ガス ☐ その他（ ）） ☐ 施工方法等（ ☐ 指定工法名（ ） ☐ その他（ ）） ☐ 別途協議（ ） ☐ 施工時期（ ） ☒ 調査項目（ ☐ 騒音測定 ☐ 振動測定 ☐ 水質調査 ☐ 近接家屋の事前・事後調査 ☐ 地盤沈下測定 ☐ 地下水位等の測定 ☒ その他（試掘調査工） ☐ 別途協議（ ） ☐ 調査方法（ ☐ 別途資料 ☐ その他（ ）） ☒ 別途協議（ ） ☐ その他（ ）
安全対策関係	☒ 交通安全施設等の指定あり ☒ 近接施設等に対する制限 ☐ 土砂崩落・発破作業に対する防護施設等に指定あり ☒ 現場での安全確保（自主施工の原則） ☐ その他（ ）	☐ 交通安全施設等の配置（ ☐ 別途図面 ☐ その他（ ）） ☐ 別途協議（ ） ☒ 交通管理要員の配置（ ☒ 別途図面 ☐ その他（ ）） ☐ 別途協議（ ） ☒ 指定路線 ☒ 指定路線以外 ☒ 配置人員数（3人） 指定路線にあっては交通誘導警備員Aを1人配置すること （注：配置人員数の変更は原則行わないものとする。但し、指定路線以外で交通誘導警備員Aが配置できない場合は変更の対象とする。） ☒ 交通管理要員の配置時間（別途協議） ☒ 交通管理要員の配置期間（別途協議） ☒ 交通管理要員配置の対象工種（別途図面） ☒ 既存施設あり ・近接公共施設（ ☐ 鉄道 ☐ 電気 ☐ 電話 ☒ 水道 ☒ ガス ☐ その他（ ）） ・近接施設（ ☐ 擁壁（ ） ☒ ブロック塀 ☒ 家屋 ☐ その他（ ）） ・現地の状況を適切に把握して施工を行うこと。 ☐ 工法制限あり ・制限を受ける工種（ ） ・制限内容（ ） ☐ 安全防護施設等の配置（ ☐ 別途図面 ☐ その他（ ）） ☐ 別途協議（ ） ☐ 保安要員の配置（ ☐ 別途図面 ☐ その他（ ）） ☐ 別途協議（ ） ☒ 受注者は、工事中の適切な安全確保の措置等の一切の手段について、自らの責任において定め、工事を実施すること。 ☒ 設計図書に明示された施工条件と工事現場が一致せず、安全確保のために指定仮設の変更や計上が必要な場合は、監督員と協議を行い指示を受けた後、受注者として適切な安全確保の措置を講じたうえで、工事を実施すること。 ☐ その他（ ）

（注）上記受託業務事項・条件及び内容のレ印当該欄は、作業に当たって制約を受ける事となるので明示する。
 明示事項に変更が生じた場合及び明示されていない制約等が発生したときは、発注者と別途協議し適切な措置を講ずるものとする。
 別途協議とは、設計・現場説明又は作業打合せ等により協議するものとする。

津市下水道局
平成30年8月

特記仕様書（施工条件明示一覧表）

No.2

明 示 項 目	明 示 事 項	条 件 及 び 内 容
工事用道路関係	☐ 一般道路（搬入路）の使用制限あり ☐ 仮設道路の設置条件あり	☐ 経路及び使用期間の制限内容（ ☐ 別途図面 ☐ その他（ ） ☐ 別途協議（ ） ☐ 使用中及び使用後の措置（ ☐ 別途図面 ☐ その他（ ） ☐ 別途協議（ ） ☐ 用地及び構造（ ☐ 別途図面 ☐ その他（ ） ☐ 別途協議（ ） ☐ 安全施設（ ☐ 別途図面 ☐ その他（ ） ☐ 別途協議（ ）
	☐ その他（ ）	☐ その他（ ）
仮設備関係	☐ 仮設備の設置条件あり	☐ 使用期間及び借地条件（ ☐ 別添図等 ☐ その他（ ） ☐ 別途協議（ ） ☐ 転用あり（ ） ☐ 兼用あり（ ） ☐ その他（ ）
	☐ 仮設物の構造及び施工方法の指定	☐ 構造及び設計条件（ ☐ 別添図等 ☐ その他（ ） ☐ 別途協議（ ） ☐ 施工方法（ ）
	☐ その他（ ）	☐ その他（ ）
残土・産業廃棄物関係	☒ 残土処分（自由処分）	☐ 残土処分地（ ☐ 別途資料 ☐ その他（ ） ☐ 別途協議（ ） 運搬距離（ ）
	☐ 残土処分（指定処分・他工事流用）	☐ 処分地の処理条件あり（ ☐ 押土整地 ☐ その他（ ））
	☒ 産業廃棄物の処理条件あり	☒ 産業廃棄物の種類（ ☐ コン塊 ☒ アス塊 ☐ 木材 ☐ 汚泥 ☐ その他（ ）） ☒ 産業廃棄物の処分地（ ☒ 再生処分場（ ） ☐ 最終処分場（ ） ☐ 別添図書 ☐ その他（ ） ☐ 別途協議（ ）） 【注：特段の理由により処分先や運搬距離を明示する場合はその他の項目（ ）に記入のこと。】 ☐ 処分場の受入条件（ ） ☒ 舗装切断時の排水処理 アスファルト・セメントコンクリート舗装の切断時に発生する排水（泥水）を河川や側溝に排水することなく排水吸引機能を有する切断機械等により回収するものとする。また、回収水等は、産業廃棄物として取り扱うものとし、適正に処理しなければならない。「適正に処理」とは、「廃棄物処理及び清掃に関する法律」に基づき、産業廃棄物の排出事業者（受注者）が産業廃棄物の処理を委託する際、適正処理のために必要な廃棄物情報（成分や性状等）を処理業者に提供することが必要である。なお、受注者は、回収水等の産業廃棄物管理票（マニフェスト）について、監督員に提示しなければならない。
☐ その他（ ）	☐ その他（ ）	
工事支障物件関係	☐ 工事支障物件あり	☐ 支障物件名（ ☐ 鉄道 ☐ 電気 ☐ 電話 ☐ 水道 ☐ ガス ☐ 有線 ☐ その他（ ）） ☐ 移設時期（ ☐ 平成 年 月 頃 ☐ 別途協議） ☐ 防護（ ）
	☐ その他	☐ その他（ ）

（注）上記受託業務事項・条件及び内容のレ印当該欄は、作業に当たって制約を受ける事となるので明示する。
 明示事項に変更が生じた場合及び明示されていない制約等が発生したときは、発注者と別途協議し適切な措置を講ずるものとする。
 別途協議とは、設計・現場説明又は作業打合せ等により協議するものとする。

津市下水道局
平成30年8月

特記仕様書（施工条件明示一覧表）

No.3

明 示 項 目	明 示 事 項	条 件 及 び 内 容
薬液注入関係	☐ 薬液注入工法等の指定あり	☐ 設計条件 () 工法区分 () 材料種類 () 施工範囲 ()
	☐ 提出書類あり	☐ 削孔数量 () 注入量 () その他 ()
	☐ 注入量の確認、注入の管理及び注入の効果の確認	☐ 工法関係 () 材料関係 ()
	☐ その他 ()	☐ その他 ()
再生材使用関係	☒ 再生材使用の指定あり	☒ 再生材の種類 (☒ 再生Asコン ☐ 再生路盤材 ☒ 再生クラッシャーラン ☐ 道路用盛土材 ☐ 再生コン砂)
	☐ 六価クロム溶出試験あり（環境告示第46号溶出試験）	☒ 再生材が使用出来ない場合の措置 (☐ 新材に変更 ☐ その他 () ☒ 別途協議)
	☒ 三重県リサイクル製品利用推進条例に基づく認定製品の使用について	☐ 再生コンクリート砂（1購入先当たり1検体の試験を行い、試験報告書には、使用する工事名称、所在地を記載する。）
	☐ その他 ()	☐ 三重県リサイクル製品利用推進条例に基づく認定製品を使用する。ただし、認定製品が入手できない場合は、監督員と別途協議。 (認定製品の品名：) 【注：認定製品の品名欄については、設計単価表の品名を記入すること】 ☒ 下記製品を本工事で使用する場合は、三重県リサイクル製品利用推進条例に基づく認定製品を使用するように努める。 (認定製品の品名： 間伐材製工事用バリエード・看板・標示板)
そ の 他	☐ 工事用機材の保管及び仮置きが必要あり	☐ その他 ()
	☐ 現場発生品あり	☐ 保管場所 () 期間 () その他 ()
	☐ 支給品あり	☐ 品名 () 数量 () 保管場所 () その他 ()
	☐ 盛土材等工事間流用あり	☐ 品名 () 数量 () 引渡場所 ()
	☐ 現場環境改善費（イメージアップ経費）適用工事	☐ 時期（平成 年 月 日） その他 ()
	☐ その他 ()	☐ 運搬方法 (☐ 受注者で運搬 ☐ 受注者以外で運搬 ☐ 別途協議 ☐ その他 ())
	☐ その他 ()	☐ 引渡場所 (☐ 別添図等 ☐ 別途協議 ☐ その他 ()) 数量 () 運搬距離 (L= km)
適 用 条 件	☒ 適用条件	☐ 現場環境改善（イメージアップ）の内容（率分） () ☐ 現場環境改善（イメージアップ）の内容（積上） ()
	☐ その他 ()	☐ その他 ()
	☐ その他 ()	☒ 三重県公共工事共通仕様書（平成28年7月版）を適用（部分改正を行った内容も含む（最新改正：平成30年 7月 1日）） ☐ 「土木構造物設計マニュアル（案） 編」を適用 ☐ その他 ()

（注）上記受託業務事項・条件及び内容のレ印当該欄は、作業に当たって制約を受ける事となるので明示する。
明示事項に変更が生じた場合及び明示されていない制約等が発生したときは、発注者と別途協議し適切な措置を講ずるものとする。
別途協議とは、設計・現場説明又は作業打合せ等により協議するものとする。

津市下水道局
平成30年8月

特記仕様書（施工条件明示一覧表）

No.4

明 示 項 目	明 示 事 項	条 件 及 び 内 容
監督の区分 〔共通仕様書 第1編第1章 1-1-22条第6 項に規定する 表1-2、表1-3〕	☒ 一般監督 （ただし、調査対象工事となった場合は、全ての工種を重点監督とする。） ☐ 重点監督	重点監督の場合 【注：全ての工種に適用しない場合は、対象工種欄をチェックし、対象工種名を記入すること。】 ☒ 全ての工種に適用する。 ☐ 対象工種（ ） ※これ以外は、一般監督とする。
入札・契約方式	☐ 入札時VE方式 ☐ 契約後VE方式 ☐ 設計・施行一括発注方式 ☐ プロポーザル方式 ☐ 総合評価方式	☐ 契約前のVE提案に基づき施工しなければならない。 ☐ 契約後にVE提案を受け付ける。 ☐ 細部設計の承認を受けなければならない。 ☐ 本件工事で提案不履行があった場合は、本件工事完成年度の翌年度に総合評価方式で発注する案件（以下「発注工事」という。）で、貴社の評価点において発注工事の加算点（満点）の1割を減点します。
電 子 納 品	☐ 工事完成図書（工事写真含む） ☒ 電子納品対象外	☐ 工事完成図書は電子納品とする。ただし、電子化が困難な部分について監督員と協議承諾を得たものについてはこの限りではない。 電子媒体の提出部数は、（ ☐ 2部 ☐ （ ）部）とする。 ☐ 三重県CALS電子納品運用マニュアル（平成 29年 4月改訂）を適用
産業廃棄物税	☒ 産業廃棄物税	☒ 本工事には産業廃棄物税相当分が計上されていないため、受注者が課税対象となった場合には完成年度の翌年度の4月1日から8月31日までの間に別に定める様式に産業廃棄物税納税証明書等を添付して当該工事の発注者に対して支払請求を行うこと。なお、この期間を超えて請求することはできない。また、設計数量を超えて請求することはできない。
工事カルテ作成・登録	☒ 工事カルテ作成・登録	☒ 三重県公共工事共通仕様書に基づき、工事カルテ作成・登録を行うこと。
建設副産物情報交換システム	☒ 建設副産物情報交換システム	☒ 三重県公共工事共通仕様書に基づき、建設副産物情報交換システム（副産物システム、発生土システム）にデータを入力すること。 ☐ 請負金額100万円以上500万円未満の工事については、建設副産物情報交換システムにデータを入力するか、監督員から配布する調査票にデータを入力して、監督員に提出すること。
工事実態調査	☐ 工事実態調査	☐ 発注者より工事実態調査の指示があった場合は、工事実態調査に協力すること。
社会保険等未加入対策	☐ 社会保険等未加入対策 （健康保険、厚生年金保険及び雇用保険）	☐ 適用除外でないにも関わらず社会保険等に未加入である建設業者を下請負人としてはならない。 受注者は、施工体制台帳・再下請負通知書の「健康保険等の加入状況」欄により下請業者が社会保険等に加入しているかどうかを確認すること。また、発注者が加入状況を証明する書類の提出又は提示を求めた場合、速やかに対応すること。
その他	☐ その他	☐ その他（ ）

（注）上記受託業務事項・条件及び内容のレ印当該欄は、作業に当たって制約を受ける事となるので明示する。
 明示事項に変更が生じた場合及び明示されていない制約等が発生したときは、発注者と別途協議し適切な措置を講ずるものとする。
 別途協議とは、設計・現場説明又は作業打合せ等により協議するものとする。

津市下水道局
 平成30年8月

暴力団等の不当介入の排除等に関する特記仕様書

1 趣旨

この特記仕様は、本市が締結する契約等からの暴力団、暴力団関係者、暴力団関係法人等（以下「暴力団等」という。）の不当介入を排除し、契約等の適正な履行を確保することに関し、必要な事項を定めるものとする。

2 用語

この特記仕様における用語は、津市の締結する契約等からの暴力団等排除措置要綱（平成２７年津市訓第７６号）において使用する用語の例による。

3 受注者等の義務

- (1) 本市の契約等の相手方及び下請負人等（以下「受注者等」という。）は、暴力団等と認められる下請負人等を使用してはならない。
 - (2) 受注者等は、暴力団等と認められる資材販売業者から資材等を購入してはならない。
 - (3) 受注者等は、暴力団等と認められる廃棄物処理業者が有する廃棄物処理施設及び廃棄物処理業者等を使用してはならない。
 - (4) 受注者は、本市と締結した契約等の履行に当たり、受注者等が暴力団等による不当介入を受けたときは、断固としてこれを拒否し、直ちに本市に文書にて報告するとともに所轄の警察署に通報し捜査上必要な協力をするものとする。この場合において、捜査上必要な協力を行ったとき、受注者は速やかに本市に文書にてその内容を報告しなければならない。
- なお、受注者等が不当介入を受けたことを理由に契約期間の延長等の措置が必要となったとき、受注者は本市に契約期間の延長等を求めることができる。

4 入札参加資格者等及び受注者等に対する措置

入札参加資格者等又はその役員等が暴力団等と認められるとき、暴力団等と密接な関係を有していると認められるときなどは、当該入札参加資格者等に対し、津市建設工事等指名停止基準（平成２１年４月８日施行）に基づく指名停止措置を講じるものとする。

また、上記３の義務に違反した受注者等に対しても、同様に指名停止措置を講じるものとする。

5 契約等の解除

上記の暴力団等と認められるときなどにより指名停止措置が講じられた入札参加資格者等との契約等については、これを解除することができる。

再生砕石（RC-40）の使用についての留意事項

津市の建設工事においては三重県公共工事共通仕様書（三重県建設副産物処理基準）に準拠し、再生資源の有効利用の促進を掲げている。ついては、再生砕石（RC-40）の使用にあたり下記に十分留意すること。

- 再生砕石の納品伝票を保管し、伝票の写しもしくは納入日を記載した材料出荷証明書等の写しを工事書類として提出すること。

搬入される材料によっては、路面等が膨れ上がる等の現象が発生する恐れがあることから、使用材料確認表（材料確認願）で確認を得た材料以外の再生砕石等の混入がないよう対策し、施工前に異常（異物の混入、軽量である等）を確認した場合は、使用しないなどの品質管理に努めること。

- 三重県公共工事共通仕様書に基づき、品質管理に注意し施工すること。

三重県公共工事共通仕様書 添付資料

4. 三重県建設副産物処理基準

第9条 再生資源及びリサイクル製品等の利用

2. 再生砕石（RC-40）の品質規格 参照

配慮依頼事項

受注者においては、この契約を履行するにあたって、下記のことについて御配慮いただくようお願いします。

なお、当該配慮依頼事項は、発注者である津市が受注者の自由な協力をお願いするものであり、受注者が津市のお願いに応じなかった場合に、受注者に対して、不利益を課すものではありません。

記

- 1 下請契約又は再委託（一次下請以降のすべての下請負人又は再委託者を含む。）が認められた契約にあつては、下請契約又は再委託等において市内本店事業者を活用することに配慮してください。
- 2 資材、原材料等の調達が必要となる場合は、市内本店事業者から調達すること及び地元製品、地元生産品を使用することについても配慮してください。
- 3 建設機械、機器等の借入れが必要となる場合は、市内本店事業者から借入れすることに配慮してください。
- 4 業務従事者等の使用人等が必要となる場合は、使用人等に市民を活用することに配慮してください。

津市公契約条例に関する特記仕様書

1 趣旨

この特記仕様は、本市が締結する公契約において、労働者の労働環境の確保、優良な事業者の育成及び地域経済の健全な発展を図ることに関し、必要な事項を定めるものとする。

2 用語

この特記仕様における用語は、津市公契約条例（津市条例第22号）（以下「条例」という。）において使用する用語の例による。

3 受注者等の責務

- (1) 関係法令及び条例の規定を遵守しなければならない。
- (2) 受注者等は、労働者の適正な労働環境の確保に努めなければならない。
- (3) 受注者等は、労働者に対等な労使関係を構築するとともに、下請契約等を締結しようとするときは、下請契約等の相手方と対等な立場における合意に基づいた適正な契約を行わなければならない。
- (4) 受注者等は、下請契約等の相手方を選定するとき、又は資材等を調達するときは、地域経済の発展に配慮し、本市の区域内に主たる事務所を有する事業者又は本市の区域内で生産された資材等を活用するよう努めなければならない。
- (5) 受注者等は、公契約に携わる者として、社会的な責任を自覚し、公契約を適正に履行しなければならない。
- (6) 受注者等は、条例第7条第1項の規定に基づき市長又は上下水道事業管理者（以下「市長等」という。）が行う報告の求め及び立入検査その他本市が実施する公契約に関する施策に協力しなければならない。

4 公契約の解除等

市長等は、受注者等が次の各号のいずれかに該当するときは、当該公契約の解除、受注者等の指名停止等必要な措置を採ることができる。

- (1) 条例第7条第1項の規定による報告を怠り、若しくは虚偽の報告をし、又は同項の規定による立入検査を拒み、妨げ、若しくは忌避し、若しくは質問に対して応答せず、若しくは虚偽の回答をしたとき。
- (2) 条例第8条第1項の規定による命令に従わないとき。
- (3) 条例第8条第2項の規定による報告を怠り、又は虚偽の報告をしたとき。
- (4) (1)から(3)に掲げるもののほか、条例の規定に違反したとき。
- (5) 特定公契約にあっては、別紙誓約事項に違反したとき。

労働環境の確保に係る誓約事項

津市公契約条例（以下「条例」という。）第6条の規定により、下記事項について了承し、遵守することを誓約します。

また、誓約内容に違反があった場合等における関係機関への通報、指名停止、契約解除及び違約金徴収について異議はありません。

記

- 1 津市公契約条例施行規則第8条に掲げる関係法令（次項において単に「関係法令」という。）を遵守すること。
- 2 関係法令に違反し、関係機関から是正勧告等があった場合は、津市長又は津市上下水道事業管理者（以下「市長等」という。）へ報告すること。
- 3 条例第7条第1項の規定による報告の求め及び立入検査に対し、誠実に対応すること。
- 4 労働者が条例第9条第1項の規定による申出（以下「違反申出」という。）をしたことを理由に、当該労働者に対し、解雇その他の不利益な取扱いをしないこと。
- 5 労働者に対し、条例の内容について周知を行うこと。
- 6 労働者の賃金水準の引上げに関する措置が講じられる場合は、下請契約等の請負契約金額の見直し、労働者の賃金の引上げ等について適切に対応すること。
- 7 市長等が行う施策に協力すること。